

あゆみ

「あいさつのいずみ」プロジェクト

あいさつ

- ① 明るい気持ちになるから
- ② いろいろな人と仲良くなれるから
- ③ マナーのよい人になれるから
- ④ ……



すてきなあいさつをふやそう!

「あいさつのいずみ」プロジェクト



9月から開始した「あいさつのいずみ」プロジェクトも3か月目に入りました。集団登校班で集まった時、登校して正門で校長先生に会った時、ピロティで人権放送委員会の子もたちや友達に会った時、教室に入る時、様々な場であいさつをしています。9月は自分からあいさつをした人数が10人以下の子がたくさんいましたが、10月は10人以上の子にあいさつできた子が多かったです。ご家庭でも、朝の挨拶がしっかりできていることでしょうか。学校に元気なあいさつの声が響き渡り、明るい気持ちで1日のよいスタートが切れるように、継続してプロジェクトを行っていきます。

あいさつカードのふりかえり

- ☆あいさつがたくさんできるようになりました。こんどは、20にんいじょうできるようになりたいです。
- ☆朝、とうこうはんで、ともだちがすぐにあいさつしてくれたのがうれしかったです。
- ☆自分では、いいあいさつができたと思います。家では「おはよ～」で学校では「おはようございます」でした。ばしょによってちがいがありませんでした。1年生の子が「おはようございます！」と喋ってくれてうれしかったです。
- ☆友だちが大きな声であいさつをしていて、すごいと思いました。
- ☆ぼくは、10m以上はなれた所からあいさつしてみようと思います。名前をよんで、15回以上やってみようと思います。
- ☆私は、あいさつを心がけることで自分が明るくなったと思います。あいさつをするたびに気持ちがよくなります。これからも続けていきたいです。

人権啓発標語・ポスター

学校代表として市の審査に出品していた人権啓発標語やポスターの中から、3名が市の代表作品に選ばれました。

☆標語の部	特選 (4年)	「差し伸べる 手を出す勇気を 表そう」
☆ポスターの部	最優秀 (4年)	
	特選 (4年)	

これらの作品は、人権教育啓発資料や物品に活用されます。

「人権絵はがき」作品展示のお知らせ

あゆみ第2号で掲載した代表児童の作品は、12月5日(日)午前10時から午後2時まで、阿南市文化会館ホワイエで展示されています。

阿南市人権教育啓発市民講座ご感想

10月25日に、「子どもの自己実現のために～大人は子どもの応援団～」をテーマに講演が行われました。参加されたPTA人権教育部の方の感想を紹介します。

どんな子に育ってほしいか、自己肯定感をもった子に育っていているかは不安があるが、親自身が自己肯定感を持ち、自己実現できているかともつながっているようだ。大人も自分の心と体を大切に、幸せになることで、周りの人も本当に大切にしていけるようになりたい。

自己肯定感とは、自分自身に肯定的な感情をもつこと、自分を価値のある存在と思う気持ちのことです。この意識は自分自身の生きる力になり、精神的な安定にもつながるといわれています。

人権フェスティバル

11月3日(水)に本庄教育集会所で人権フェスティバルが開催されました。本庄教育集会所は今年で設立40周年なので、それを記念してくす玉を割るところからスタートしました。人権フェスティバルでは、いずみクラブのバンドコースの8名の児童が「炎」を演奏しました。クラブの時間だけでなく昼休みもたくさん練習して、素晴らしい合奏を披露してくれました。また、昨年度に引き続き「ご恩と奉公」バンド(小6の時に有志で結成されたバンドで、現在中1です。)も出演し、フェスティバルを盛り上げました。

